

予 算 要 求 資 料

令和5年度9月補正予算

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育振興費

事業名 感染症対策スクールバス運行委託事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 特別支援教育課 企画係

電話番号：058-272-1111(内8687)

E-mail：c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 28,816 千円 (現計予算額：442,404 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	442,404	221,202	0	0	0	0	0	0	221,202
補 正 要求額	28,816	14,408	0	0	0	0	0	0	14,408
決定額	28,816	28,816	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する間、スクールバスにおける感染リスク低減を図る必要がある。

スクールバス車内における3密を回避するため、乗車率を低減する取組みを継続する必要がある。

○上記事業は当初予算にて予算措置(感染症対策スクールバス運行委託費は国費1/2)

○令和5年度の契約を締結するに当たり、契約金額の合計が当初予算額を超過する結果となった。

○そのため、年度当初に就学奨励費から23,816千円、スクールバス運行委託費から5,000千円、感染症対策スクールバス運行委託費に流用を行った。

○今回の補正で流用に合わせ、スクールバス運行委託費を28,816千円増額する。

(2) 事業内容

「岐阜県学校再開ガイドライン」を踏まえ、既存のバス運行委託のバスの増台をする。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫補助率1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	28,816	スクールバス運行委託費（当初契約不足分）
合計	28,816	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「第3次教育ビジョン」（2019.3）
（基本方針2 多様な学びを支援する教育体制の充実
目標7 特別支援教育の推進 取り組むべき主な施策）
- ⑥特別支援学校の児童生徒一人一人のニーズに応じた学習環境整備
特別支援学校児童生徒の通学に係る負担を軽減するため、スクールバス全コースにおいて乗車時間が概ね60分以内となるよう、スクールバスの増配置を計画します。
- ・子どもかがやきプラン（H21.3改訂）
（スクールバス整備 基本方針）
スクールバスの乗車を希望する児童生徒数の推移に合わせて、希望者が乗車できるよう整備する。
全路線でバスの乗車時間を片道概ね60分以内にする。

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する間、特別支援学校の児童生徒の安全安心な通学環境を確保できるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 乗車時間（片道）概ね60分以内						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルスに伴う特別対策のため

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	「岐阜県学校再開ガイドライン(令和2年5月15日版)」を踏まえ、スクールバス車内における3密を回避するため、乗車率50%となるよう登校時に借上げバス50台の増台運行を行った。
令和3年度	「岐阜県学校再開ガイドライン(令和2年5月15日版)」を踏まえ、スクールバス車内における3密を回避するため、乗車率50%となるよう登校時に借上げバス50台の増台運行を行った。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	特別支援学校のスクールバスにおける新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図り、児童生徒の安全安心な通学環境を確保するために必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	県内特別支援学校において新型コロナウイルス感染症対策として増台運行を行うことにより、児童生徒が安全にかつ安心して通学ができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	一律に大型バスを増車するのではなく、各コースの乗車人数に合わせて大型・中型・マイクロ・ワゴンを配置し、無駄のない増車を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況に収束が見込めない場合については、スクールバスにおける感染防止対策を継続していく必要がある。学校と情報共有し、必要に応じてバスの増車を行う。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、スクールバスにおける感染防止対策を講じていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
